

「Grow up your feeling」

～仲間とともに自然体験～

事業の概要

事業のねらい 児童養護施設等で生活している子どもたちが、心身ともに健やかに成長・発達していくことを願い、自然体験活動と心のふれあいの機会を提供する。

期 日 平成22年11月13日(土)～11月14日(日)

会 場 国立那須甲子青少年自然の家

対 象 者 児童養護施設等で生活する小・中学生と引率職員

参加者数 1施設33名(20名程度)

(募集人数)

日 程

10:00 10:30 11:00 12:00 13:00 15:00 17:15 19:00 20:30

11/13 (土)		移動	出会い の会	室内OL	昼食	森林探検 (リースの材料探し)	キャンドル作り 竹箸作り	夕食	キャンプ ファイヤー	入浴
--------------	--	----	-----------	------	----	--------------------	-----------------	----	---------------	----

6:30 7:20 9:00 12:00 13:30 14:00

11/14 (日)	起床	朝食	退所 準備	ネイチャークラフト (リース作り)	昼食	別れの 会	解散
--------------	----	----	----------	----------------------	----	----------	----

プログラム紹介



【室内OL】

普段はあまりふれあう機会のない別棟の子や他学年の子と班を作り、協力して課題を解決することができました。



【森林探検】

室内OLの班毎になすかしの森をハイキングしながら、リースで必要になる材料を協力して採取することができました。



【キャンドル作り】

空き瓶を使って、自分だけのオリジナルキャンドルを作りました。



【竹箸作り】

低学年の子どもたちも小刀を上手にを使って、竹を削って、自分が使うための「マイ箸」を作りました。



【キャンプファイヤー】

みんなで楽しくじゃんけんゲームや紙切りゲームなどをしました。最後はマイキャンドルに火をともし、今日のふりかえりをしました。



【リース作り】

前日集めてきた材料を使って、班毎に協力して施設のクリスマス会で飾るリースを作りました。

企画・運営のポイント

児童養護施設と共通理解を図りながら、子どもたちに自立に向けた社会性や協調性の意識が育つようなプログラムを設定した。自然の中に身をおいたり、体験活動をとおして、自分の意見を聞いてもらったり、他の意見を受け入れたりする中で、子どもたちに仲間との絆や心の開放を図るプログラムを設定した。児童養護施設の職員も子どもたちと一緒に活動し、一緒にリースや箸作りを楽しめるように企画した。

事業を終えて (成果と課題)

異学年男女混合の班編制にして実施した室内OLやリース作りをとおして、中学生を中心にそれぞれが自分の意見を述べたり、聞いたりしながら班の一員として活動をする場面が多く見られた。児童養護施設の職員も子どもたちと一緒に活動することによって、子どもたちの新たな一面を発見する機会となった。子どもたちの社会性や協調性のさらなる成長を期待するためには、複数の施設との交流など、内容や回数について検討する必要がある。

今後の方向性

児童養護施設の諸般の事情で複数の施設との交流事業として実施することがむずかしい状況にあることから、今年度まで実施してきたプログラムを児童養護施設の研修支援事業において提供することで普及を図る。